

8月下旬の調査予定 環境整備にご協力を

イコモスによる現地調査を控えて



▶昨年6月にはイコモスの海外委員が当町を訪れ、世界遺産登録対象史跡の現地視察を行った

世界遺産登録の可否を左右するユネスコの諮問機関・イコモスの現地調査が、8月下旬に実施されることとなりました。今月号では、予定される調査スケジュールと、必要となる事前の環境整備へのご協力をお願いについてお知らせします。

「平泉 浄土思想を基調とする文化的景観」の世界遺産登録業務については、昨年末にユネスコ世界遺産センターに推薦書を提出し、現在ユネスコの諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）において審査が行われていますが、このほど、その一環としてイコモスによる現地調査が実施されることとなりました。

この調査は、イコモスからユネスコに対して提出される評価報告書を作成する上で、非常に重要な判断材料となるもので、この結果が世界遺産登録の可否を左右することとなります。ついては、浄土思想を基調とする文化的景観の構成要素である景観や町並みなどに対する調査員の印象も重要なものになる

ことから、現地調査に向けた環境整備についてご協力をお願いします。

現地調査の予定

詳細な日時は決定していませんが、8月下旬の3日間となる予定です。

【1日目】

一関の宿所から長島経由で中尊寺、奥州市の長者ケ原廃寺跡を調査し、その後、平泉郷土館でミーティングを行います。中尊寺に向かうに当たっては、大文字キャンプ場から平泉の遠望を見ていただきます。

【2日目】

厳美渓を通り一関市の骨寺村

【3日目】

一関市から達谷窟経由で無量光院跡へ向かい、金鶏山、毛越寺を調査した後、平泉郷土館でミーティングを行います。

イコモスによる現地調査の予定

- ◎実施時期…8月下旬のおおむね3日間
- ◎調査スケジュール

1日目	2日目	3日目
<ul style="list-style-type: none"> ▷中尊寺 ▷長者ケ原廃寺跡 ▷ミーティング 	<ul style="list-style-type: none"> ▷骨寺村荘園遺跡 ▷達谷窟 ▷柳之御所遺跡 ▷白鳥館遺跡 ▷ミーティング 	<ul style="list-style-type: none"> ▷無量光院跡 ▷金鶏山 ▷毛越寺 ▷ミーティング

環境整備にご協力をお願いします
史跡地と、現地調査の移動ルート、その周辺地域に関する清掃や除草などの環境整備について、皆さんのご協力をお願いします。また工事現場については、

現場の環境整備、可能であれば工事を一時休止していただければ幸いです。そのほか、景観に影響を及ぼすおそれのあるもので、現地調査までに対応が可能なものについては、整理のほどよろしくお願ひします。【具体例の表を参照】

ご協力いただきたい環境整備の具体例

除草清掃	▷長島地区の県道から見える地区▷毛越寺から達谷窟までの県道から見える地区▷毛越寺街路周辺▷中尊寺通り周辺▷柳之御所遺跡周辺▷金鶏山周辺▷大文字キャンプ場周辺▷自宅周辺▷花壇
花壇	▷周辺の花壇で花が枯れているものは、植え替えをお願いします。
工事現場	▷安全性を確保した上で、バリケードなどを整然と配置するようお願いいたします。（可能であれば工事を一時休止願えると幸いです）
商店など	▷古くなった看板を、撤去または取り替えていただければ幸いです。 ▷のぼりなどは、撤去していただければ幸いです。

※8月20日（月）までをめどにご協力をお願いします。



【景観を損ねている例】右 史跡地内に残り残されたごみステーションノ左 古くなり、倒れかけた看板



平泉町長 高橋一男

平成12年11月、私が議員だったころ、世界遺産暫定リスト掲載の内示の報が届きました。あれから7年の歳月が流れ、その間に史跡の指定、奥州市と一関市への範囲の拡大、景観条例の施行、推薦書の提出など皆さまのご理解とご協力を得て進めてまいりました。いよいよ迎えることとなったイコモスによる現地調査は、イコモスからユネスコに対して提出される評価報告書を作成する上で非常に重要な判断材料となるもので、この結果が世界遺産登録の可否を左右することとなります。

登録を実現し、平泉の文化遺産の素晴らしさを世界に発信するとともに、より良い景観を次世代に継承するため環境整備について町民の皆さまのご協力を何とぞよろしくお願ひいたします。

登録に向け官民一体

町世界遺産地域協議会が初代会

世界遺産登録と、登録後の資産保存、活用に向け、住民と行政が一体となった取り組みについて協議する「町世界遺産地域協議会」の初代会が7月24日、町保健センターで開かれました。

同協議会は町内の観光、商工業、農業、住民団体の代表者や、町職員ら20人で構成。高橋町長が「登録へのハードルは年々高くな

なっており、国、県、地域が一体となった取り組みが必要。残された課題を解決するために「意見を頂きたい」とあいさつしました。

登録に向けたスケジュールや景観法に基づいた景観計画と景観条例策定の取り組み、平泉観光協会ホームページの立ち上げや英語版パンフレットの作製などを行う「平泉観光ルネサンス事業」の継続などを説明。イコモスの現地調査に向け、8月20日をめどとした環境整備の協力を町民に求めていくことを確認しました。



町世界遺産地域協議会の初代会

同協議会は検討を重ね、町内資産の保存や活用、観光振興、まちづくり施策の総合調整に取り組んでいきます。